

**FAX受講申込用紙** **淑徳大学 授業開放講座**

①希望講座名 ※希望する講座名・学期・曜日 時間をご記載ください。	前学期 ・ 後学期 ( 曜日 ) ( : ~ : )
②郵便番号	
③住所	
④氏名 (ふりがな)	
⑤生年月日 (年齢)	年 月 日 ( 才 )
⑥性別	男性 ・ 女性
⑦電話番号	( )
⑧FAX番号	FAX あり・なし 電話番号と同じ・違う→ ( )
⑨メールアドレス (必須)	
⑩受講経験	初めて/経験あり (時期: 講座名・内容等: )

\*上記事項をご記入の上、FAXしてください。

**申込方法** ホームページ上の申し込みフォームより、下記事項をご記入の上、お申し込みください。  
①希望講座名 ②郵便番号 ③住所 ④氏名(ふりがな) ⑤生年月日(年齢) ⑥性別  
⑦電話番号 ⑧FAX番号 ⑨メールアドレス(必須) ⑩以前の受講経験(公開講座等)  
※FAXでお申し込みの方は、上欄をご使用ください。  
(ご記入いただいた個人情報は、授業開放講座以外の目的には使用いたしません)



**申込〆切** ■前学期締切は2025年4月14日(月)です。 ■後学期締切は2025年9月22日(月)です。

**申込先** 淑徳大学 千葉キャンパス 地域連携室 〒260-8701 千葉県千葉市中央区大蔵寺町 200  
TEL : 043-265-7340 FAX : 043-265-9877 E-mail : c-svc@daijo.shukutoku.ac.jp  
https://www.shukutoku.ac.jp/social/open/ (淑徳大学ホームページ → 社会連携・社会貢献 → 公開講座 → 千葉キャンパス)

**2024年度の受講生の皆様にアンケート!**

**Q. 受講の感想や受講を検討されている方へ一言お願いします!**

40代女性 受講講座「伝統文化と民俗世界B」	60代男性 受講講座「多文化と異文化理解B」
●パートが休みの日に受講しました。「今週はこんなことを勉強したよ」と授業で学んだことを子どもに話し、親が楽しく勉強する姿を見ることができました。 ●普段接する機会のない専門家から直接お話を伺い、若い学生の皆さんの意見を聴くことができる、貴重な時間でした。授業中に疑問に思ったことなどは、リアクションペーパーで質問すると、次回の授業で学生から提出されたコメントの紹介(振り返り)とともに、詳しく回答していただきました。	●約1万年前に農耕定住生活を始めた人類が、どのようにして「知」の形成・発展を図り、資本主義社会という近代世界システムをつくり上げてきたのかを知りたいと思い、この講義を受講した。経済史・宗教・哲学など複合的な要因に基づき、人類の学術の発展過程をわかりやすく講義していただきました。教科書的な平板・断片的な見方ではなく、歴史の発展を因果関係の連鎖、進化と発展の相の下に見るといふ方法論の重要性を理解することができたこと、この講義を受講したことの最大の成果であった。
60代女性 受講講座「生命科学と生命倫理A」「危機管理論」「発達心理学C」 「伝統文化と民俗世界B」「アジアの文化と暮らしB」	70代男性 受講講座「伝統文化と民俗世界B」
●以前から関心があった倫理や心理学などの講義を受けることができ、思っていた以上に楽しく爽やかな時間を持てました。学生の皆さんと一緒に受講することも興味深く貴重な体験ができました。 ●自分が学生時代には学習していなかった科目や、ふだん興味を持っている分野、知りたかった情報について専門の先生から講義を受けることで幅広い知識を得ることができたのが良かったです。	●今回初めての受講でしたが、50歳も年の離れた学生さん達と一緒に講義を受け、時折学生さん達と意見を交わす機会もあって、ワクワク感満載の半年でした。 ●前回の講義に対する意見や感想を冒頭に紹介して頂くことで若い人の考え方を知ることができ、そういう意味でもとても新鮮で勉強になりました。
50代女性 受講講座「社会保障法」「労働法」	50代女性 受講講座「社会心理学」
●「社会保障法」日々の生活に直結することなのに意外に知らないものだなと思い、受講して良かったです。 ●「労働法」以前と比べてと今までの問題とか、変わっていないこと、その問題点など知れて良かったです。	●他の公開講座と大きく異なるのが在学の学生さんと同じ正規の授業を受けられるということです。スクールバスや図書館も利用できて、「学校に通う」という日々の体験にワクワクしました。 ●新しい知識を得られたこと。再び学生という立場になれてとても心が躍り自由な気持ちになりました。
60代男性 受講講座「多文化と異文化理解B」	50代男性 受講講座「スポーツマネジメント」「心と体の健康管理A」
●同じような授業を大学生の時に受けた覚えがあるが、さまざまな人生経験を経た現在の学びは、学生の頃にはなかった深い理解を実感できた。 ●社会人教育は若いころの大学の授業とは別物のような気がする。学生の時の授業は「学びの入り口」であり、社会人教育は「学びの集大成」であると思う。知識を完成形にするには社会人教育が欠かせないと思う。	●実務に携わる専門家の方に、現状と課題を交えながら話を聞くことができた。またリアクションペーパーで質問へのフィードバックを行うなど双方向のコミュニケーションが得られた。 ●今回の授業を受けることにより、日常生活において知識や行動への幅が広がったように思います。もし今後授業を受ける方がありましたら、授業で聞いた話を「自分事」まで落とし込んで話を聞く、家に帰って復習し咀嚼すると役立てられると思います。

**淑徳大学 授業開放講座への申し込み**

**淑徳で学ぶ福祉・歴史・文化・宗教**

淑徳大学では、大学の教育・研究を広く地域に提供する目的で、本学の学生向けに開設している正規授業の一部を開放しています。年齢や学歴を問わず、どなたでも受講することができます。生涯学習の一助に、あるいは社会人の学び直しの機会として、キャンパスで学生たちと一緒に学び合いませんか?

**講座概要** 前学期 2025年4月7日(月)より 毎週同曜日、同時刻に  
後学期 2025年9月15日(月・祝)より 15回の授業を開講します。

- 第1回目【4/7(月)~4/11(金)】については、どの講座でも無料で受講可能です。
- 全て対面授業の実施となります。
- 受講料: 1 講座15,000円[初回のお試し受講は無料]  
(申込後の受講者都合によるキャンセルについては返金いたしません。)
- 講座によっては定員や履修学生の人数により、開講されない場合がございます。
- 授業定員の増数は原則不可となっております。定員が上限を超過した科目につきましては、本学学生を優先させていただきますので、予めご了承ください。
- 単位認定をご希望の方は、科目等履修生をご検討ください。

## 前学期

No.	曜日 No.	開講 曜日	時 限	科目名	教員氏名	概 要
1	1	月	9:00～ 10:30	法律社会と人権問題B	鶴 恒介	「人権を侵害するな」とはよく言われる。何度もよく言わなければならないほどに人権侵害は身近で多いということである。そこで人権をめぐる法的問題を通じて、市民としての人権尊重や人権擁護に関する基本的な知識を修得する。
2	2		10:40～ 12:10	経済構造と経済政策C	渡邊 翔	現代経済の基本的な概念と政府の役割について理解したうえで、現代社会の様々な問題への解決策を考える。
3	3		13:00～ 14:30	生命科学と生命倫理C	魚谷 雅広	現代の生命科学・医療をめぐる倫理的諸問題を具体的な事例から考察する。
4	4		14:40～ 16:10	現代人の生活倫理C	魚谷 雅広	現代社会の特質について理解を深め、その社会を生きていくための倫理について考察し、自らを律する視点を養う。
5	5		14:40～ 16:10	アジアの文化と暮らしA	江藤 双恵	東南アジアに暮らす人々の生活に、文化がどのように影響しているかを見ていく。信仰が自然保護や農作業に役立つ事例、高齢化を乗り切る文化に根差した知恵などを理解する。
6	6		16:15～ 17:45	宗教と科学	磯岡 哲也	宗教と自然科学および社会科学との関連について、知的な興味をもつ受講者の関心に応じて、人生と科学とのかわりをさまざまな側面から解説する。
7	7		16:15～ 17:45	多文化と異文化理解A	江藤 双恵	日本の中の多様な弱者の状況について知ることを通じて、異文化理解について学ぶ。
8	1	火	9:00～ 10:30	福祉政策と社会保障A	八田 和子	公共政策のなかの福祉政策の位置づけや性格の理解を目指す。また、社会保障制度の体系・機能・給付内容に関する基礎知識の習得を目的とする。
9	2		10:40～ 12:10	福祉政策と社会保障B	本多 敏明	公共政策のなかの福祉政策の果たす役割を考察するとともに、福祉政策の位置づけや性格の理解を目指す。また、社会保障制度の体系・機能・給付内容に関する基礎的理解をもとに社会保障制度の重要性について理解を深める。
10	3		13:00～ 14:30	現代人の生活倫理B	小林 秀樹	現代社会の特質について理解を深め、その社会を生きていくための倫理について考察し、自らを律する視点を養う。
11	4		14:40～ 16:10	チームワークとリーダーシップB	蔵 琢也	本授業では、チームやそれが集まった組織に起こる様々な問題と、リーダーの特性、あるいはチームの構造と、業績の関係などの問題を論じる。また、参考となる様々なビデオを見て、解説を行うことにする。
12	1	水	10:40～ 12:10	ボランティア・市民活動論A	静間 宏治	社会福祉をはじめとした幅広い分野で活動する際、一般的に「ボランティア」とはどの様に捉えられているか、「ボランティア」とは、具体的にはどのような活動があるのか、活動分野、種類、関連制度に関する基本的な知識を身につける。
13	2		10:40～ 12:10	世界動向と国際貢献C	阿部貴美子	国際協力を行う国連機関やNGOなどの組織や方法、協力事例(教育や健康、人道支援分野他)を学び、国際協力のめざすものと価値感を考える。そこから、自分と国際協力のつながりを理解する。
14	3		10:40～ 12:10	宗教社会と民族文化C	小林 惇道	日本を含む世界の多様な宗教、民族文化について学び、その特徴と社会的意味を考察する。
15	4		14:40～ 16:10	世界動向と国際貢献A	松尾 加奈	私たちの毎日の生活は世界の動きと無関係ではありません。この授業では地球規模の課題を私たちの身近な生活課題に引き寄せて社会福祉の視点で解決策を考え議論する。
16	5		14:40～ 16:10	人間の心理と行動A	渡辺 由希	心理学の基礎的な概念や理論、方法論を理解して、人間の心理と行動を客観的に把握する姿勢を身につける。
17	6		16:15～ 17:45	仏教福祉論	藤森 雄介	我が国の社会福祉にしめる仏教福祉の総合的理解。
18	1	金	9:00～ 10:30	リハビリテーション論	室井 大佑	リハビリテーションの概念と基本的な流れ、障害者・高齢者を取り巻く医療・福祉従事者の役割について説明する。また、代表的な疾病について、その特徴と対策法を説明する。
19	2		9:00～ 10:30	福祉政策論	下山 昭夫	この授業では、現下の財政事情を踏まえ、様々な広義の社会福祉に関連する現状や課題等について議論していきたい。素材は、日々の新聞等の記事から拾い上げていく。
20	3		10:40～ 12:10	社会福祉論	本多 敏明	社会福祉諸制度の目的や歴史や諸制度の概要を理解し、人生のどのようなときに社会福祉諸制度と関わるかを理解することを主たる目的とする。
21	4		10:40～ 12:10	地域防災論	松蘭 祐子	「地域防災」の基本は、自分や身近な人の命を守ることから災害に強いまちづくりをめざす。この授業では、防災・減災や復興の基本的な考え方を学び、取り組み事例を紹介し、市民のレベルからの地域防災を考える。
22	5		13:00～ 14:30	人間の心理と行動D	富澤佳代子	心理学の様々な領域から心と行動を理解するための多様な視点や方法について学ぶことを通して私たちの行動がどのような心理的背景によって選択されるのかについて理解する。
23	6		13:00～ 14:30	健康科学と身体運動A	廣瀬 恒平	幅広い視点から、生涯にわたって心身ともに健康で自立した生活を送るための基礎的知識について解説する。

## 後学期

No.	曜日 No.	開講 曜日	時 限	科目名	教員氏名	概 要
1	1	月	13:00～ 14:30	現代人の生活倫理F	魚谷 雅広	現代社会の特質について理解を深め、その社会を生きていくための倫理について考察し、自らを律する視点を養う。
2	2		13:00～ 14:30	宗教社会と民族文化B	磯岡 哲也	宗教と社会とのかわりについて、できるだけ客観的な視点から、国内のみならず多様な民族文化を通して理解する。
3	3		13:00～ 14:30	環境保護と野外活動	岩田 優子	地球的規模で環境や持続可能な社会、未来への責任について考え、環境教育の視点にたつて身近な地域で活動できる人材の育成を図る。
4	4		14:40～ 16:10	生命科学と生命倫理A	魚谷 雅広	現代の生命科学・医療をめぐる倫理的諸問題を具体的な事例から考察する。
5	5		14:40～ 16:10	多文化と異文化理解B	長谷川 奏	いま日本の社会は多文化社会に直面し、その対応を迫られている。本講義では、地中海世界を舞台として取り上げながら、そこに登場した初期文明・地中海文明・イスラーム文明・西欧文明というそれぞれ異なる文明が相互に激しく反発しながらも、互いに学びあい接触しあう姿を見ることで、異文化理解の本質を考えてみたい。
6	6		14:40～ 16:10	経済構造と経済政策B	渡邊 翔	現代経済の基本的な概念と政府の役割について理解したうえで、現代社会の様々な問題への解決策を考える。
7	7		14:40～ 16:10	法律社会と人権問題C	鶴 恒介	「人権を侵害するな」とはよく言われる。何度もよく言わなければならないほどに人権侵害は身近で多いということである。そこで人権をめぐる法的問題を通じて、市民としての人権尊重や人権擁護に関する基本的な知識を修得する。
8	8		14:40～ 16:10	政治社会と行政問題C	田邊 亮	現代の政治社会におけるさまざまな問題に関係する、政治学の理論・モデルや政治思想について学ぶ。
9	9		16:15～ 17:45	スポーツマネジメント	利渉 洋一	Jリーグでの様々な事例を中心に、サッカー・スポーツエンターテインメントの最前線と、その背景にある仕組みや概念、また、それを支える人々の思いなどについて考え、スポーツの持つ楽しさや、価値、その可能性を学ぶ。
10	10		16:15～ 17:45	国際関係と外交課題	金 恩愛	国家間の政治・外交の相互作用を中心に、国際関係の基本的な仕組みやあり方を基礎から学び、国際社会の動向を理解する力を養う。
11	11		16:15～ 17:45	多文化と異文化理解C	長谷川 奏	いま日本の社会は多文化社会に直面し、その対応を迫られている。本講義では、地中海世界を舞台として取り上げながら、そこに登場した初期文明・地中海文明・イスラーム文明・西欧文明というそれぞれ異なる文明が相互に激しく反発しながらも、互いに学びあい接触しあう姿を見ることで、異文化理解の本質を考えてみたい。
12	12		16:15～ 17:45	社会貢献と地域活動A	土崎 雄祐	社会の一員として、そこに暮らす人や家族、地域社会、国際社会に関心をもち、活動する際の知識や態度、実際の取り組み方を学ぶことにより、社会の維持・発展のために積極的にかかわってゆく力を養うことを目的とする。
13	1	火	9:00～ 10:30	家族社会学	青柳 涼子	現代日本の家族および家族をとりまく社会状況について理解を深めることを目的とする。
14	2		13:00～ 14:30	生命科学と生命倫理B	小林 秀樹	生命倫理の諸問題を読み解く基本知識や基本原理を身につけ、これらの問題について自ら考える視点を養う。
15	3		13:00～ 14:30	健康科学と身体運動D	山岸 卓樹	本科目では、運動や日常生活動作が身体諸機能に及ぼす影響を多角的に学ぶことで、毎日を心身ともに健やかに過ごすための知識習得を目指す。
16	4		16:15～ 17:45	チームワークとリーダーシップD	蔵 琢也	本授業では、チームやそれが集まった組織に起こる様々な問題と、リーダーの特性、あるいはチームの構造と、業績の関係などの問題を論じる。また、参考となる様々なビデオを見て、解説を行うことにする。
17	5		17:50～ 19:20	チームワークとリーダーシップC	蔵 琢也	本授業では、チームやそれが集まった組織に起こる様々な問題と、リーダーの特性、あるいはチームの構造と、業績の関係などの問題を論じる。また、参考となる様々なビデオを見て、解説を行うことにする。
18	1	水	13:00～ 14:30	アジアの文化と暮らしB	江藤 双恵	東南アジアに暮らす人々の生活に、文化がどのように影響しているかを見ていく。信仰が自然保護や農作業に役立つ事例、高齢化を乗り切る文化に根差した知恵などを理解する。
19	2		14:40～ 16:10	地域振興論	桜井 篤	受講生自身の興味・志向を大切にしながら観光振興をテーマに地域の魅力を発掘してプロデュースする実践的手法を学ぶ。企画、マーケティング及びクリエイティブワークを楽しみながらスキルと知識を身につける。
20	3		16:15～ 17:45	共生論	藤森 雄介	仏教の教えに基づく「利他共生(りたきょうせい)」を建学の精神に持つ淑徳大学について、「共生論」とは、言い換えれば「淑徳学入門」である。
21	4		17:50～ 19:20	社会福祉の歴史	藤森 雄介	日本における社会福祉成立の流れの理解。
22	1	金	10:40～ 12:10	地域福祉論	本多 敏明	地域福祉が「コミュニティ政策」の課題のひとつであることを理解する。また、医療や福祉のフィールドとして地域が政策的に注目されている理由を理解する。
23	2		13:00～ 14:30	心と身体の健康管理	岩井 阿礼	心と身体の健康の相互作用、健康管理の必要性についての理解を深める。うつ病や依存症、生活習慣病と心の健康の関係、ストレスマネジメントなど身近なテーマを取り上げて講義する。
24	3		16:15～ 17:45	人間の心理と行動C	蔵 琢也	本授業では、人間の心理と行動の様々な面についてのトピックを扱う。とりわけ、動物と人間の比較や、多重人格症などの多くの参考ビデオを使い、解説を行う。

**お申し込みはお早めに！**

■前学期締切は2025年 4月14日(月) です。  
■後学期締切は2025年 9月22日(月)です。

※科目内容は変更となる場合がございますので、予めご了承ください。